

令和2年度第2回 岡山県急性心筋梗塞等医療連携体制検討会議
大動脈解離に関する部会

日 時:令和3年2月22日(月)

19:00~20:00

Web開催

(ケアナビネット拡張機能 Web 会議システム)

次 第

1 開 会

2 議 題

- ・ 大動脈緊急症診療体制構築について
「心臓血管外科標榜病院における大動脈緊急症診療体制に関するアンケート調査」

3 その他

4 閉 会

岡山県急性心筋梗塞等医療連携体制検討会議 大動脈解離に関する部会 設置要綱

(目的)

第1条 岡山県保健医療計画に基づき、大動脈解離に関する医療提供体制を整備することを目的とした、岡山県急性心筋梗塞等医療連携体制検討会議 大動脈解離に関する部会（以下「部会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 部会は、次に掲げる事項について協議・検討する。

- (1) 大動脈解離に対する医療連携体制の在り方に関する事
- (2) その他大動脈解離の医療連携体制の推進に必要な事項

(組織)

第3条 部会は、委員15名以内で組織する。

2 委員は、医療関係者、その他岡山県において大動脈解離に対する医療を実施する機関の関係者の中から知事が委嘱又は任命する。

(会長及び副会長)

第4条 部会に、会長1名及び副会長2名程度を置き、委員の中から互選する。

2 会長は、部会を代表し、会務を総括する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代理する。

(任期)

第5条 委員の任期は、2年とする。ただし、再任は妨げない。

2 委員に欠員が生じた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(部会等)

第6条 部会の会議は、会長が必要に応じて招集し、会長が議長となる。

(意見の聴取)

第7条 部会は、必要があると認めるときは、委員以外の者の出席を求め、その説明を受け、又は意見を聴くことができる。

(庶務)

第8条 部会の庶務は、岡山県保健福祉部医療推進課において処理する。

(雑則)

第9条 この要綱に定めるもののほか、部会の運営等に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この要綱は、令和2年2月27日から施行する。

附 則

この要綱は、令和2年9月30日から施行する。

岡山県急性心筋梗塞等医療連携体制検討会議
大動脈解離に関する部会 委員名簿

氏 名	所 属・職 名
池上 徹則	倉敷中央病院 救命救急センター主任部長
石井 純一	岡山県医師会 理事
伊藤 浩	岡山大学大学院 循環器内科教授
上村 史朗	川崎医科大学附属病院 循環器内科部長
笠原 真悟	岡山大学病院 心臓血管外科教授
門田 一繁	倉敷中央病院 副院長、循環器内科主任部長
小宮 達彦	倉敷中央病院 心臓病センター副センター長 心臓血管外科主任部長
西田 典数	岡山県真庭保健所 所長
松本 三明	津山中央病院 院長補佐 兼 心臓血管センター長
吉鷹 秀範	心臓病センター榊原病院 心臓血管外科 副院長

(五十音順・敬称略)

オブザーバー

種本 和雄	川崎医科大学附属病院 心臓血管外科教授
藤原 誠	岡山県消防長会長

(五十音順・敬称略)

岡山県急性心筋梗塞等医療連携体制検討会議 大動脈解離に関する部会

心臓血管外科標榜病院における大動脈緊急症診療体制に関するアンケート調査
 令和2年12月1日～令和3年1月15日 心臓血管外科標榜病院の8病院へ調査を実施

【結果概要】

●回答あり 7病院 (未回答 1病院)

○大動脈緊急症 拠点病院 4病院

(急性大動脈疾患の入院・手術を毎日24時間受入可能)

- ・川崎医科大学総合医療センター
- ・心臓病センター 榊原病院
- ・川崎医科大学附属病院
- ・倉敷中央病院

○大動脈緊急症 準拠点病院 3病院

(急性大動脈疾患の入院・手術を優先的に受入可能)

- ・岡山医療センター
- ・岡山大学病院
- ・津山中央病院

圏域	医療機関	調査対象	回答あり	未回答
県南東部圏域		5	4	1
県南西部圏域		2	2	0
高梁・新見圏域		0	—	—
真庭圏域		0	—	—
津山・英田圏域		1	1	0
合計		8	7	1

	拠点病院	準拠点病院
県南東部圏域	2	2
県南西部圏域	2	0
高梁・新見圏域	—	—
真庭圏域	—	—
津山・英田圏域	0	1
合計	4	3

独立行政法人国立病院機構 岡山医療センター 院長 殿
岡山赤十字病院長 殿
国立大学法人岡山大学 岡山大学病院長 殿
川崎医科大学 総合医療センター 病院長 殿
社会医療法人社団十全会 心臓病センター榊原病院長 殿
学校法人川崎学園 川崎医科大学附属病院長 殿
公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院長 殿
一般財団法人津山慈風会 津山中央病院長 殿

岡山県急性心筋梗塞等医療連携体制検討会議
大動脈解離に関する部会長
岡山県保健福祉部医療推進課長
(公 印 省 略)

「心臓血管外科標榜病院における大動脈緊急症診療体制」
に関するアンケート調査について（依頼）

保健医療行政の推進につきましては、平素より格別の御理解、御協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、本県では、岡山県保健医療計画に基づき、急性心筋梗塞等の急性期・回復期・在宅等における継続的な診療や服薬、運動等の生活指導など、患者が安心できる生活を支援するため、心筋梗塞医療等に関わる多職種協働による医療連携体制を整備することを目的として、岡山県急性心筋梗塞等医療連携体制検討会議を開催しています。このたび、大動脈解離に関する部会において、大動脈緊急症診療体制の構築を目的に、本アンケートを実施することといたしました。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、御協力のほどよろしく願いいたします。

記

- 1 調査様式 別紙のとおり
「心臓血管外科標榜病院における大動脈緊急症診療体制に関するアンケート調査」
- 2 回答期限 令和3年1月15日（金）
※FAXにて下記担当まで送付願います。

【お問い合わせ・ご提出先】
岡山県保健福祉部医療推進課
疾病対策推進班（担当：片山）
〒700-8570 岡山市北区内山下2-4-6
TEL：086-226-7321／FAX：086-224-2313

大動脈緊急症の救急体制

心臓血管外科標榜病院における大動脈緊急症診療体制に関するアンケート調査

大動脈解離及び胸部・腹部大動脈破裂は大動脈緊急症(aortic emergency)と総称され、比較的若年者から高齢者に、突然発症する緊急疾患であります。死亡率は急性心筋梗塞より高く、大動脈解離では発症 24 時間以内に 20%、そして 48 時間以内に 30%が死亡する。患者が適切な医療機関で受療可能な体制を構築する観点から、他の心血管疾患とは異なる枠組みのもと地域ネットワークの構築が必要となります。岡山県でも年間約 400 人の大動脈解離の新規症例があり、これは年々増加しております。

そこで、外科的な観点からこの体制のために、連日 24 時間手術可能である大動脈緊急症拠点病院と大動脈緊急症拠点病院の認定をまず行う必要があります。これにより、地域の外科治療体制をカバーし、地方自治体レベルのネットワーク構築を目指したいと考えております。

このネットワークの根幹をなす、拠点病院、準拠点病院の選定のために心血管疾患の急性期疾患を担う皆様の施設にアンケート調査を行いたいと考えております。

参考としまして、東京都で行われております、急性大動脈スーパーネットワークの施設基準をお示し致します。

緊急大動脈重点病院

急性大動脈疾患の入院・手術を毎日 24 時間受け入れ可能かつ、多数の実績のある病院

- 1 急性大動脈疾患の手術を毎日 24 時間受け入れ可能
- 2 救急隊への優先搬送を推奨
- 3 都内への呼称を公開
- 4 施設基準:3 年で 100 例以上
前年 40 例以上あるいは症例数が毎年増加していること
重点拠点病院参加への意欲

緊急大動脈支援病院

- 1 急性大動脈疾患の手術が優先的に受け入れ可能
- 2 重点病院を支援し、救急隊に準優先的な搬送を推奨
- 3 都内への呼称を公開
- 4 施設基準:3 年で 30 例以上
前年 10 例以上
支援病院参加への意欲

【FAX 送信先】

岡山県 医療推進課 疾病対策推進班 片山あて FAX 086-224-2313

以上を鑑み、以下のアンケートを行わせていただきます。

心臓血管外科標榜病院における大動脈緊急症診療体制に関するアンケート調査

医療機関名	
住所	
連絡先電話番号	
記入者	

- 1 心臓血管外科医数(外科後期研修は含まない、専門医の有無は問わない) _____ 名
- 2 常勤当直の心臓血管外科医数。 _____ 名
- 3 循環器内科医数(専門医は問わない) _____ 名
- 4 常勤当直の循環器内科医数 _____ 名
- 5 心臓手術に特化した麻酔科医数 _____ 名
- 6 常勤当直の麻酔科医数 _____ 名
- 7 放射線科の医師数(専門医の有無は問わない) _____ 名
- 8 連日、オンコールの麻酔科医はいますか。該当するものに✓してください。
あり なし
- 9 臨床工学技士数 _____ 名

10 そのうち、人工心肺に関わることのできる臨床工学技士数 _____ 名

11 常勤当直臨床工学技士数 _____ 名

12 循環器に特化した集中治療室(CCU)の病床数 _____ 床

13 2017年から2020年までの大動脈緊急症(大動脈解離及び胸部・腹部大動脈破裂)の手術症例数を教えてください。加えて、内数として、急性大動脈解離の手術件数を教えてください。

	2017年	2018年	2019年	2020年
大動脈緊急症				
うち急性大動脈解離				

14 B型大動脈解離におけるステントグラフト治療が、緊急時に施行可能か。該当するものに✓してください。
可能 不可能

15 独自の関連施設群を形成し、手術治療を行う施設(公立、私立問わず)はありますか。該当するものに✓してください。
あり なし

16 大動脈緊急症診療においてどれを希望しますか? 該当するものに✓してください。

大動脈緊急症**拠点病院**
(急性大動脈疾患の入院・手術を**毎日24時間受入可能**)

大動脈緊急症**準拠点病院**
(急性大動脈疾患の入院・手術を**優先的に受入可能**)

いずれも希望しない。

17 その他:要望等、特記すべきことがありましたら、ご記入ください。

以上です。
ご協力ありがとうございました。